

報道関係者各位

2017年6月8日

株式会社 協和

第17回日本抗加齢医学会総会にて研究発表
 ～夏本番直前！女性に朗報～
プラセンタエキスの美白有効成分を新発見！！
ジペプチドがメラニンの黒化を抑制
美白を強化したプラセンタエキスに今後期待

株式会社 協和（東京都新宿区、代表取締役：堀内泰司）は、6月2日（金）～6月4日（日）に行われた「第17回 日本抗加齢医学総会」にて、東京医科歯科大学 服部淳彦教授との2年半にわたる共同研究の成果を発表いたしました。

■まとめ

2014年10月より、東京医科歯科大学の服部教授とプラセンタの美白効果に係る有効成分についての共同研究を進めてきました。その成果として、メラニンが集まって黒くなることを、プラセンタに含まれる特定のジペプチドが阻害し、新たな美白作用があることを発見しました。

研究発表内容

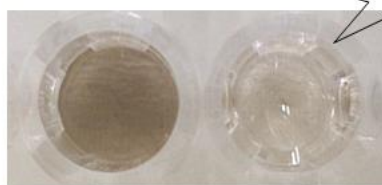
■プラセンタエキスの美白の有効成分を発見！

「メラニン生成抑制剤」として特許出願中

美白効果については、チロシナーゼ活性系の美白メカニズムが知られていますが、メラニンの前駆体である DHICA（5,6-ジヒドロキシインドール-2-カルボン酸）からメラニンが作られる過程で黒化を促進することは解明されていませんでした。この DHICA が集まって黒くなる度合いを測定する方法を見つけ、プラセンタエキスに含まれる特定のジペプチドが、黒化を阻害する作用があることを確認しました。

具体的には、メラニンの前駆体である無色の DHICA を 24 時間放置すると黒くなりますが、ジペプチドを加えると黒化が抑えられ（写真参照）数値でも同じような結果が示されています。

ジペプチドの黒化抑制作用の比較



コントロール
(ドーバクロムのみ)

X
(2 mM)

※ mMは濃度を示す

黒化が抑えられている

ジペプチドの黒化抑制作用

※24時間後、黒化抑制率50%とするために必要なジペプチドの濃度

	X
IC50	0.97(mM)

また、共同研究のもう1つの成果として2015年には美白効果を強化したプラセンタエキスの独自製造方法を見つけ、同じく特許出願をしています。

■美白効果を強化したプラセンタエキスの独自製造方法を確立

「胎盤抽出物の製造方法」として特許出願済み

プラセンタには美白効果があることが確認されている一方で、黒化を促進する成分が含まれることが報告されています。その成分を取り除くためにプラセンタエキスを油（食用）で処理する独自製造方法を見つけ、美白効果を高めたプラセンタエキスを作り出すことに成功しました。

今秋、この美白を強化したプラセンタエキスを使用したサプリメントを、協和のブランド「フラコラ」より販売する予定です。

会社概要

- 会社名：株式会社 協和
- 設立：1960年
- 住所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル9F
- 代表取締役：堀内 泰司
- 事業内容：健康美容食品の販売（通信販売・店舗販売）
ブランド名『フラコラ』 <http://www.fracora.com/>

《本件に関する報道関係者のお問い合わせ先》

株式会社協和 PR事務局（ビルコム株式会社）

担当：河野（こうの）・中島（なかじま）

TEL:03-5413-2411 FAX:03-5413-2412

MAIL: kyowa@bil.jp